

# 2025年度助成実績一覧表

(公財)カメイ社会教育振興財団

※2026年1月末時点の情報です。

## A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

応募:6件 決定:6件

(敬称略)

番号	氏名	所属機関【都道府県名】	研修テーマ	研修施設名
		役職名		研修期間
1	鍔本 武久	国立大学法人 愛媛大学理学部 【愛媛県】  教授／統括教育コーディネーター	『博物館等にある「忘れ去られた標本」の “発掘”と研究・教育への活用』 古生物学では、「忘れ去られた標本」(大昔に発掘された未研究標本)がしばしば重要な役割を果たす。本研修では、恐竜などの忘れ去られた化石標本が多くあるモンゴルの研究所で、その実例と利用戦略を調査する。	モンゴル科学アカデミー 地質古生物研究所  3/8～15
2	見留 さやか	山口情報芸術センター (山口市文化財団) 【山口県】  キュレーター	『クィアやフェミニズム、ケアをテーマにした アーティストや作品、芸術祭の調査』 社会制度や構造の問題によって、疎外化/周縁化された存在について、クィア・フェミニズム・ケアの視点から、アートの文脈と共に問い合わせ検証する。アジアの国際芸術祭を視察し、その表現と実践を調査・報告する。	①タイ・ビエンナーレ ②シンガポール・ビエンナーレ  ①1/26～28 ②1/30～2/1
3	棚橋 沙由理	国立大学法人 筑波大学 【茨城県】  准教授	『世界最古の大学博物館で実施される 新たな医博連携プログラムに関する調査研究』 倫理教育教材の開発に向けて、アシュモレアン博物館における医博連携プログラムの調査を行う。死という普遍的テーマに対し、学問分野の垣根を超えた倫理教育教材としてのオブジェクトの機能について、総合的に検討したい。	オックスフォード大学内の アシュモレアン博物館を 含む学内博物館・図書館 施設等(英)  9/24～30、 11/18～28
4	長澤 牧子	独立行政法人 国立科学博物館 【東京都】  常設展示・ 巡回展示課係長 (常設展示担当)	『イギリスおよびフランスの博物館等における、 常設展示のインクルーシブ・デザインの取り組み について』 イギリス及びフランスの博物館常設展示における インクルーシブ・デザインについて調査し、所属 館の常設展示改修設計に活かす。それにより、誰 もが利用できる包摂的であって多様性と持続可能 性を育む博物館を目指す。	国立自然史博物館他 (仏) ロンドン自然史博物館 (英)他  7/26～8/2
5	齊藤 有里加	東京農工大学 科学博物館 【東京都】  学芸員・特任助教	『大学博物館における理工系資料の継承と 先端科学との接続に関する国際的動向の 把握-ICOMドバイ大会(UMACセッション) 参加および未来博物館視察を通じて』 大学博物館が直面する理工系資料の劣化と活用 不足という課題に対し、国際博物館会議(ICOM) 総会への参加と未来博物館の視察を通じて、保 存・展示・教育活用の最前線を学ぶ。得られた知 見を大学教育に還元し、博物館の社会的機能と 未来への接続を再構築する。	第27回ICOM総会/大学 博物館委員会(UMAC) セッション、ドバイ未来博 物館他 (UAE)  11/10～16
6	大橋 紘樹	独立行政法人 国立科学博物館 【東京都】  展示部企画展示課 主任(特別展担当)	『最新技術を活用したイマーシブ体験を 可能とする展示手法の海外事例調査』 博物館法改正によりデジタル活用が求められる 中、UAEの先進技術を導入した博物館の展示事 例を調査し、国立科学博物館での8K標本モデリ ング等への応用を目指す。	ドバイ未来博物館、チー ムラボ フェノメナ アブダ ビ(UAE)他  11/9～16

以上「A」6件

## B. 博物館に関する国際交流に対する助成

応募:6件 決定:6件

(敬称略)

番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
1	全国科学館連携協議会 【東京都】	『2025年度 全国科学館連携協議会 海外視察研修』 諸外国における科学館やサイエンスセンター等における取り組みの視察・調査を行う。視察においてはスタッフ同士の交流による情報交換に力を入れており、参加者の所属館の教育プログラムやコンテンツ、運営等の充実を図ることを目的とする。	タイの国立科学博物館、 国立情報科学技術館他 全5施設
	会長 毛利 衛		12/1~5
2	北九州市立 自然史・歴史博物館 【福岡県】	『東アジア友好博物館 子どもを対象とした「教育普及プログラム合同研究会」実施事業』 韓国・仁川広域市立博物館、中国・旅順博物館と共同で教育普及プログラムをテーマに、子どもを対象とした合同研究会を開催する。また青少年を対象とするモニター調査を実施する。成果を広く公開し、博物館の国際交流モデルを構築する。	北九州市立 自然史・歴史博物館
	館長 真鍋 徹		5月~1月
3	横浜美術館 【神奈川県】	『横浜美術館リニューアルオープン記念展 「いつもとなりにいるから 日本と韓国、 アートの80年」』 横浜美術館と韓国国立現代美術館の共同企画により、1945年から今日に至る日韓現代美術の関係史を紐解く展覧会を開催する。日韓両国に散在する作品を一挙に展示し、これまで欧米との関係を中心に語られてきた両国の美術史研究に、新たな視座を提示する。	横浜美術館
	館長 蔵屋 美香		12/6~3/22
4	公益財団法人 池田記念 スポーツ文化財団 (池田記念美術館) 【新潟県】	『世界とつながる書の魅力展 -ケベック、日本、そして私-』 日本の伝統文化である書道を学び、越後に生まれた良寛を敬愛しているケベックの人たちの作品と、越後に住んで書を学んでいる魚沼の子どもたちと大人の作品を共同展示することによって、新たな国際交流の場を創出する。	池田記念美術館
	理事長 池田 哲雄		5/31~7/12
5	全国科学博物館協議会 【東京都】	『令和7年度全国科学博物館協議会 海外科学系博物館視察研修』 加盟館園から参加者を募って視察団を組織し、海外の科学系博物館との視察調査や意見交換を通じ、所属組織の業務運営や職員の資質向上に活かすとともに、広く公表することで博物館活動全体の活性化につなげることを目的とする。	韓国の代表的な 科学系博物館
	理事長 篠田 謙一		1/13~19
6	公益財団法人 いわさきちひろ 記念事業団 安曇野ちひろ美術館 【長野県】	『TANEM-TANEMAKI EXHIBITION 子どもたちのための芸術を祝う インドネシアと日本のアーティストによる交流展』 インドネシア・ジョグジャカルタで初のいわさきちひろと12名の日本の画家の絵本展を通して、絵本専門美術館の展示と教育普及の知見を共有。絵本需要が急増する当地にて多岐にわたるイベントを開催し関係者の交流を行い、両国の絵本文化の発展に寄与する。	Bentara Budaya (インドネシア ・ジョグジャカルタ)
	館長 黒柳 徹子		7/25~8/3

以上「B」6件

## C. 青少年の社会教育活動に対する助成

応募:23件 決定:14件

(敬称略)

分類番号	団体名【都道府県名】	事業名等	場所【参加人数】
			実施時期
1	いいづか人材育成グループ『ユリシス』 【福岡県】	「国際交流のすすめ」 「地引Amigo!!～外国人と海洋体験を～」 中高生が、来日後に生活文化の違いや言葉の問題で日本での生活に馴染めないでいる外国人や国際交流に興味のある方を対象に海洋体験事業を実施し、継続的な交流のきっかけづくりの機会とともに、自身の国際理解を深める。	福岡県糸島市 二丈深江海岸 [参加者140名]
	会長 松永 樹俐		9/23
2	登米祝祭劇場 ミュージカル劇団 ドリーム☆キッズ 【宮城県】	『登米市市制施行20周年記念事業 劇団ドリーム☆キッズ 第23回ミュージカル公演』 登米市を中心とした小中高生らが所属する子どもミュージカル劇団。仲間と一つの舞台を創る過程から、子供たちの感性や表現力を養い、社会性や協調性も身に付ける。市民に本格的な舞台芸術を提供することで、魅力ある地域づくりに貢献する。	水の里ホール・ Abebisou (登米祝祭劇場)
	会長 佐藤 純子		9/13・14
5	こどもの夢ひろば “ボレロ”実行委員会 【東京都】	『第11回 こどもの夢ひろば“ボレロ” ～つながる・集まる・羽ばたく～』 様々なジャンルで活躍する一流の本物に子どもたちが触れる機会の提供により、将来の夢や希望をはじめ、生きる勇気や目標を掴み取ってほしいと願って実施している事業。そのことで、将来子どもたちの健全な成長の一助にすることが目的。	日立システムズホール仙台 [参加者2,600名]
	実行委員会会長 今井 環		8/2・3
6	公益財団法人 ふくしま科学振興協会 【福島県】	『すかがわサイエンスフェスタ2025』 地域企業や高校と連携を図りながら、身近な科学・自然事象に触れるための本イベントを開催することで、様々な世代の交流の促進を図るとともに、青少年の科学への興味関心を高めたい。	ふくしま森の科学体験センター (ムシテックワールド) [来場者1,100名]
	理事長 永瀬 功一		8/24
8	湘南とアジアの若者による未来創造事業 実行委員会 【神奈川県】	『絵本で子どもたちの世界をひろげる プログラム』 日本のカラフルな絵本を現地語に翻訳し、貧困の子どもたちに読み聞かせをして子どもたちの世界を広げる。中学生でも参加できる、そしてアジアの青年と協働による社会貢献活動を地域に創り出す。	藤沢市内の中学校他
	代表 和賀井 稔		通年
9	大和町文化振興協会 【宮城県】	『たいわっ子芸術文化推進事業 「スギテツwith浅野祥&弦楽 アンサンブル」』 町内の小学3年生～6年生を対象に開催し、芸術文化に触れる機会を創出することにより、豊かな心を育み、情操教育の推進を図るために実行している。今年度は、町制施行70周年を記念して、音楽に親しむコンサートを行う。	まほろばホール [参加者1,000名]
	理事長 村田 晶子		9/25・26
11	アルテ・プラーサ 【静岡県】	『KIDS ARTWEEKS2025』 人間に必要な感覚的発想や創造的思考を育むよう、昨年度のモデル事業を基に各界・各層との共創によるアート体験等を、小学校で一定期間継続して開催。AIと協働・共生する未来の人づくりを応援する社会課題に取り組む。	三島市立長伏小学校 [開催校の小学生・教師300名、地域の参加者100名]他
	会長 坂田 芳乃		12月～3月

分類番号	団体名【都道府県名】 代表者名	事業名等	場所【参加人数】
			実施時期
12	奥州市芸術文化協会 【岩手県】 会長 広野 次雄	『おうしゅう伝統文化体験フェスタ』 「こども芸術発表会」の舞台や、華道・民俗芸能等日本の伝統文化を体験できるイベントを行い、芸術文化に触れる機会を創出。併せて現代芸術に取り組む子どもたちの発表も同時に行い、伝統文化と現代の文化の相乗効果で共感と理解を促進する。	奥州市文化会館 1/17・18
13	国立大学法人 山形大学学術研究院 大学院理工学研究科 【山形県】 教授 木島 龍朗	『モバイルキッズ・ケミラボ2025』 理科教育の振興と豊かな人格形成および人材育成を図るために、山形大学大学院理工学研究科教職員の有志と米沢市教育委員会と企業の連携のもと、小中学生を対象とした理科実験教室や各種イベントでの出前実験教室を開催する。	①実験教室:米沢市理科研修センター〔各回30名〕 他 ②イベントでの出前実験等 5月～1月
14	ガールスカウト 岩手県連盟 【岩手県】 連盟長 長畑 ルミ子	『女の子だからこそ、科学をしよう!! Let'sサイエンス』 小学生を中心に、時代に合わせた教育としてSTEM教育を実施。子育て施設を会場にサイエンスショーを行い、一般参加親子と科学を体感とともに、将来の選択肢の一つとして「理系女子(理系男子)」を想像し自身の可能性を広げる機会とする。	やはばーく (矢巾町活動交流センター) 〔参加者50名〕 9/7
15	せんだい伝統文化フェア 実行委員会 【宮城県】 会長 小野 智子	『15周年記念 城下町せんだい 日本伝統文化フェア』 仙台市内で伝統文化活動を行っている子供親子教室18団体で構成する当実行委員会と仙台市教育委員会の共催。伝統文化の成果披露と子供自ら活動する機会作りとし、次世代の子供への伝統文化の継承と振興に寄与する。	せんだいメディアテーク 〔参加者18団体子供250名〕 1/17
19	公益財団法人 名取市文化振興財団 【宮城県】 理事長 沼倉 良郎	『小学校アウトリーチ事業 Art for Kids @なとり わくわく楽しい音楽会』 名取の子供たちへ本物の音楽を届けることを目的として、小学校への音楽アウトリーチとホールでの演奏会を開催。学校で出会った演奏家とホールで再会する喜びとわかりやすく楽しいクラシック音楽を体感し、感動を通して豊かな心を培う。	①アウトリーチ:名取市内の11小学校の4年生〔800名〕 ②音楽会: 名取市文化会館〔400名〕 ①6/9～13 ②7/6
20	YCC東北 【宮城県】 代表 小山 和彦	『未来の作曲家コンサートin東北2025』 地域の音楽文化を醸成するために、若年層に対して作曲を中心とした良質の音楽経験を提供する。作品の応募から、コンサートが運営されるまでの体験を通して人材育成につなげ、将来的には人材が循環する仕組みを構築する。	仙台市宮城野区文化センター パトナホール 〔出演者20名、入場者120名〕 8/23
23	一般社団法人 manaco 【宮城県】 代表理事 中野 栄一郎	『宮城県でのオンラインを活用した不登校の子どもたちの育ちと学びのサポートと対面での体験活動の実施』 宮城県内の不登校等により不安や悩みを抱える、居場所がない概ね6～18歳を対象に、オンラインでの個別の学習サポートや相談対応、レクリエーションを通じた居場所づくりと対面での体験活動を実施する。	(オンライン、対面) 〔対象者30名〕 通年

以上「C」14件

## D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

応募:28件 決定:21件

(敬称略)

分類番号	団体名	事業名等	場所〔参加人数〕
			実施時期
1	ひがしまつしま サンフラワー 【宮城県】	『第47回復興支援ふれあい大芸能祭』 震災で苦労した東松島の人々、特に高齢者を主な対象とし、前向きに元気になってもらいたく、心のケアの一助として芸能の力により交流の場を創設する。地元貢献のボランティア活動を目指す。 代表 三浦 敦夫	東松島市コミュニティセンター 〔来場者400名〕 5/25
2	チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ コ・フローラ 【宮城県】	『チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ 創設60周年記念事業～田中常彦の系譜を辿り、 イタリアとの絆を紡ぐ～』 チルコロ・フローラ創設60周年に際し、日本マンドリン界の先駆者にして高橋五郎の師である田中常彦の活動の系譜を辿るとともに、縁のあるイタリアの音楽家の作品などを取り上げ、イタリアとの絆を未来に向けて紡ぐ。 主宰 高橋 五郎	①宮城野区 文化センター・パトナホール 〔入場者120名〕 ②日立システムズホール仙台 〔入場者560名〕 ①5/31 ②10/13
		『N-ovalビル音楽サロン Monthly concert-Monday afternoon-』 地域の音楽活動を活性化させるため、地域社会と交流しながら、若い世代を始めとする多様な層が参加しやすい環境を整える。できるだけ多くの方に音楽の魅力と素晴らしさを伝え、音楽家の活動の場を提供することで、彼らのキャリア支援にもつなげていく。	N-ovalビル1階サロン 4月～3月 (年10回実施)
4	一般社団法人 岩手県芸術文化協会 【岩手県】	『芸術体験フェスタ 楽しいステージフェスティバル』 障害児童を含む中学生以下の県内の子供たちの幅広いジャンルの舞台公演のステージ。公演の経験を今後のスキル向上に活かす。各団体の継承活動を公表し共有することにより、次世代育成の推進や中学校部活動の地域移行の推進にも貢献する。 会長 柴田 和子	トーサイクラシックホール岩手大ホール (岩手県民会館) 〔参加者400名〕 10/5
		『合唱団パリンカ創団35周年記念 第32回定期演奏会』 戦後80年を迎える記念演奏会は、公募合同ステージ「青いメッセージ」に戦争と平和を、新作男声合唱曲にふるさと宮城の素晴らしさを託す。創団以来の歩みを振り返りながら、合唱の楽しさ、明日への希望と元気を届ける。 団長 斎藤 栄一	東北大大学百周年記念会館 川内萩ホール 〔入場者780名〕 6/29
6	公益社団法人 東北障がい者 芸術支援機構 【宮城県】	『Art to You ! 障がい者芸術世界展 IN SENDAI 2025』 障がいのある人の芸術活動を支援し、多様な表現の発信と相互理解の促進を目的に、地元仙台で芸術世界展を開催。国内外から作品を募集し、優れた入選作品を展示。芸術を通じた共生社会の実現を目指し、表彰式や交流企画も実施。	せんだいメディアテークx 〔来場者5,600名〕 8/21～24
		代表理事 須佐 尚康	

分類番号	団体名	事業名等	場所[参加人数]
			実施時期
7	城下町せんだい 日本伝統文化 未来プロジェクト 【宮城県】	『トキメキ体験！日本伝統文化はココ・ 城下町せんだいから』 仙台市の観光振興の一助とし、日本伝統文化の振興と次世代への継承を目的として、静寂な佇まいに在る仙台屈指の歴史的建築物の茂ヶ崎庵・仙庵を会場に、ココでだけ！あなただけ！愉しく学ぶ多彩な日本伝統文化の体験講座を開催する。	①伝統文化ワークショップ： 茂ヶ崎庵 [参加者400名] ②茶会体験：仙台市茶室 仙庵 [参加者880名]  4月～3月 (月1回程度)
9	一般社団法人 仙台オペラ協会 【宮城県】	『2025仙台オペラ協会 第49回本公演』 日本オペラの秀作、松井和彦作曲の「泣いた赤鬼」と、「オペラ・ガラコンサート」を上演する。できるだけ多くの、地元で活躍している方を起用し上演することにより、オペラの普及と地域の音楽文化の振興に寄与する。	日立システムズホール仙台  9/27・28
10	仙台短篇映画祭 実行委員会 【宮城県】	『ショートピース！仙台短篇映画祭2025』 仙台で上映される機会の少ない国内外の短篇映画や自主制作作品を上映する映画祭。監督やゲストとの交流や地域の企業や団体と連携して、地域文化の振興を進める。震災後の仙台の映像文化や地域振興に寄与し、復興への活力を提供したい。	せんだいメディア テーク [来場者850名]  9/20～23
11	仙台湾燻蒸株式会社 文化事業部 【宮城県】	『若手アーティスト支援プログラムVoyage 歴代出展者展』 地元にゆかりある若手アーティストの意欲的な活動をサポートし、新たな才能や感性と出会う場を創出、文化及び芸術等の振興を図る。様々な分野の専門家や専門機関と連携しながら、市民の参加型学習機会の充実を図る。	塩竈市 杉村惇美術館 [来場者780名]  5/3～25
12	勅使河原ビル株式会社 【宮城県】	『加藤直子×IVy HALL ランチタイムカレンダーコンサート』 平日昼間に市中心部で、気軽にクラシック音楽に触れることのできる30分のランチタイムコンサートを開催。クラシック初心者でも親しみやすいように、様々な生活様式に合わせた時間帯、価格設定を行い上質な音楽を提供する。	仙台中央音楽センター IVyホール [入場定員100名]  5月～3月 (全6回)
13	一般財団法人 奥州市文化振興財団 【岩手県】	『合唱で綴る日本の民謡 世界の民謡コンサートin奥州』 令和9年度に奥州市文化会館開館35周年記念事業として開催する市民オペラに向けて、5ヵ年計画で取り組む市民参加の合唱コンサート。誰もが参加でき、魅力を感じ、伝えられる合唱を創り、市民に潤いと温もりを与えるホールを目指す。	奥州市文化会館 [参加者170名]  9/14
15	認定NPO法人 山形国際 ドキュメンタリー映画祭 【山形県】	『山形国際ドキュメンタリー映画祭2025 震災記録映画特集上映プログラム 「ともにあるCinema with Us 2025」』 本映画祭にて震災記録映画の特集プログラムを実施し、作品の上映と座談会、展示を行う。3.11以降の映像記録の多様な取り組みと経験を振り返りながら、東北と能登の現状と記録による支援について考える。	フォーラム山形シアター3 [参加者330名]、 やまがたクリエティブシティ センター[参加者60名]  10/10～13

分類番号	団体名	事業名等	場所[参加人数]
			実施時期
16	大崎市民ギャラリー 緒絶の館 【宮城県】 館長 中川 早苗	『奏でる美術-音をみよう、形をきこう-』 「音」や「音楽」をテーマに、音の楽しさと形の美しさの融合を追求した作品を紹介し、「音楽が聞こえるまちづくり」を推進する。また、地元の大学生と子供向けワークショップを行い、地域の担い手の育成を目指す。	大崎市民ギャラリー 緒絶の館 [観覧者670名] 9/4~15
18	公益財団法人 さかた文化財団 土門拳写真美術館 【山形県】 館長 佐藤 時啓	『戦後80年記念特別展 東松照明と土門拳』 戦争や社会的テーマと向き合いながら独自の表現を追求した2人の写真家、東松照明と土門拳の作品や関係性を振り返る史上初の展覧会。戦後80年の節目に、日本写真史の軌跡や、今も絶えない戦争について再考する。	土門拳写真美術館 (酒田市) 7/11~10/26
19	シネマ・デ・アエル プロジェクト 【岩手県】 代表 有坂 民夫	『シネマ・デ・アエル上映会』 江戸時代に建造された酒蔵を改装したシアターで、多様な映画作品に会える上映会を開催する。一部の作品では、上映後に参加者から感想を聞くアフタートークや、関連するゲストを招いたトークイベントも実施する。	シネマ・デ・アエル (宮古市) [延べ450名] 4月~2月 (計10回)
20	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団 (宮城野区文化センター) 【宮城県】 理事長 會田 義克	『宮城野区文化センター 室内楽セレクション 「Music from PaToNa」』 全国的に珍しい地方都市における室内楽の本格的な演奏会シリーズを実施。演奏会だけではなく、オープニングセミナー、アンサンブルアカデミー等関連事業を展開することにより、音楽文化の普及及び次世代を担う人材の育成に努める。	宮城野区 文化センター・パトナホール、 宮城野区中央市民センター [4回各50名]、他 4月~2月
22	公益社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】 理事長 吉田 利弘	『第62回宮城県芸術祭』 本芸術祭は、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県文化振興財団、仙台市市民文化事業団と宮城県芸術協会の共催で、宮城県の芸術文化の振興発展の寄与を目的として開催する。	せんだいメディア パーク他 9月~3月
24	南三陸YYProject 【宮城県】 代表 下山 みどり	『南三陸カルチャーフェスティバルvol.2』 音楽や映画などの文化的なコンテンツを通じて、世代や地域、立場などを越えて多様な人々がともに参加し、楽しみや感動を共有することで人と人、人とまちのつながりが生まれる、深まることを目指している。	南三陸町内 [参加者100名] 11/9、3/14
25	公益財団法人 仙台フィルハーモニー 管弦楽団 【宮城県】 理事長 増子 次郎	『仙台フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会 マイタウンコンサートin岩沼』 2003年からスタートしたマイタウンコンサート。今年は第一線で活躍する若手指揮者と、仙台市出身のピアニストとの共演を予定。今年度も岩沼をはじめ県南の地域の方々に本格的なオーケストラを楽しんでもらい、地域の文化振興への寄与を図る。	岩沼市民会館 [来場者620名] 8/24
27	塩竈 fotofestival実行委員会 【宮城県】 実行委員長 平間 至	『塩竈 fotofestival2026』 塩竈市出身の写真家・平間至が中心となり、市内各所を会場とした多彩なイベントを通じて、写真の楽しさと塩竈の魅力を発見、発信することを目的とする、東北最大規模の fotofestivalを開催する。	塩竈市杉村惇美術館、 旧亀井邸他 [来場者6,000名] 3/6~15

以上「D」21件